

## 1・6 調査研究に対する外部評価

当所の調査研究に対して外部の意見を聞き、県民ニーズなどに合致した効率的・効果的な研究業務の遂行とその透明性の確保を図るため、外部評価委員会（委員5名）による評価を行った。

評価年月	調査研究課題	総合評価	コメント
平成24年 12月	熊本県における日本紅斑熱の疫学調査 (調査期間：平成22～23年度)	【成果評価】 非常に高く評価できる。	<p>【総合評価】 大変意義のある調査研究であり、迅速に研究に取り組んだという点で委員会としても非常に高く評価できる。今後は、搬入されたイノシシについての検査結果だけでなく、生息環境等の地理的な情報も集め、研究に反映させてほしい。</p> <p>【委員のコメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者が急増してすぐに調査研究に取り組んだ点は評価できる。ただ、未解明な部分もある。</li> <li>・迅速に研究に取り組んだこと、日本紅斑熱の検査結果が短時間に判明する点を評価した。</li> <li>・学会発表や論文投稿等を積極的に行ってほしい。イノシシの検査で血中に抗体は検出されているが、リケッチアの遺伝子が検出されないことについては、技術的に改善が必要ではないか。</li> <li>・迅速に研究に取り組んだ点や天草での講演会開催等を評価した。</li> <li>・発展性は大いに期待できる。イノシシを介した感染経路の解明や他地域との比較検討等、今後も調査研究を続けてほしい。</li> </ul>

※ 成果評価：調査研究の終了後に、研究目的の達成状況、行政施策等への寄与度及び県民ニーズへの対応等を評価するもの